

墨田区（報道）

令和元年11月13日

～区内の菊は今が見頃！区民ボランティアが丹精込めて作った菊を、ぜひご鑑賞ください～

緑と花の学習園で『菊まつり』を開催中！

現在、区の環境学習施設「緑と花の学習園」(文花二丁目12番17号)では、「菊まつり」が開催されており、訪れる人の目を楽しませている。これは、多くの方に「緑と花の学習園」の緑を通して、季節を感じてもらうとともに、同園を拠点として活動している区内の緑化ボランティア「緑と花のサポーター」の活動を広く知ってもらおうと開催しているもの。平成23年度から開催しており、今回で9回目。

園内の特設展示スペースに並べられているのは、「緑と花のサポーター」が丹精込めて育てた約60鉢の菊。黄色や白の色鮮やかな“大菊”をはじめ、山菊とも呼ばれる小輪の“小菊”など、色とりどりの見事な菊が咲き誇っている。特に今年度は珍しいものとして、区の友好都市である長野県小布施町の「北斎巴錦保存会」より譲り受けた“巴錦”という古典菊を展示している。これは、かつて葛飾北斎が好んで作品でも取り上げたもので、花びらの内側が深紅色、外側が黄金色となっているのが特徴。北斎ゆかりの二つの地のつながりにより今回の展示が実現した。その他、園内では全長240cm、幅130cmと圧倒的な大きさの「大懸崖(おおけんがい)」が咲き誇っている。「菊まつり」は、11月24日(日)まで開催中。

また、区内では都立向島百花園(東向島3-18-3 堀 直子・センター長)でも菊の見頃を迎えている。同園では、「菊が彩る江戸屋敷」を24日(日)まで開催中。期間中、古典菊の展示と菊の育て方教室など様々な催しを行う。



<緑と花の学習園について>

「緑と花の学習園」は、緑について、見て、学び、相談できる施設として、昭和56年4月に開園した。約350種の草花が植栽されており、四季折々の草花を楽しむことができる。同園の植栽の手入れ等を担っているのは、区内の緑化推進の旗振り役として平成14年度に発足した「緑と花のサポーター」。このボランティア団体は、「区民が緑化活動に自主的に取り組む機会を提供し、区内における緑と自然の保全の必要性を訴える」ことを目的として区の公募により組織された。活動内容は「緑と花の学習園」を拠点に、区内にある花壇やプランターなどの植物の手入れや緑化イベントでの啓発活動など。緑と花のサポーターは、緑や花が好きな仲間が集まって手軽に自然に触れることができるとあって人気を呼んでおり、現在47名(令和元年11月現在)が在籍している。

<菊まつりについて>

現在開催中の「菊まつり」は、「緑と花のサポーター」が丹精込めて育てた菊を展示しているイベント。開催のきっかけは、平成23年にサポーターのひとりである菊愛好家の鈴木勝夫さんが育てた10鉢ほどの菊を同園で展示したこと。「すばらしい大菊だ」と来園者から大変好評を得て、「ぜひ来年も見たい」との声が寄せられた。その後も「菊まつり」は開催され、今年度で9回目の開催を迎える。

『菊まつり』の開催概要

【開催場所】緑と花の学習園（文花二丁目12番17号）

【開催日時】11月24日（日）まで 午前9時から午後4時まで 期間中無休

【入場料金】無料

『菊が彩る江戸屋敷』の開催概要

【開催場所】都立向島百花園（東向島三丁目18番3号）

【開催日時】11月24日（日）まで 午前9時から午後5時まで 期間中無休

【入場料金】一般150円 65歳以上70円 小学生以下及び都内在住・在学の中学生は無料

《問合せ》環境保全課 田島 5608-6208

向島百花園 3611-8705